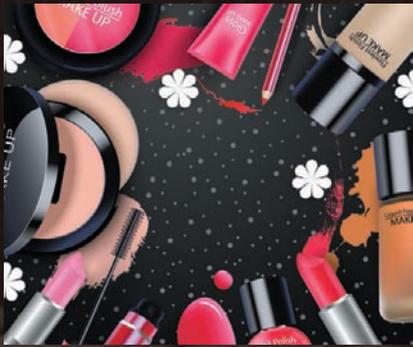




# JAPAN TAX-FREE Shopping Guide

免税制度を知って、日本でのお買い物を賢くお得に楽しもう！



# 日本の免税制度

日本でのショッピングを楽しむのを知っておくとお得な「消費税免税制度」。免税は、家電やアクセサリ、靴などの一般物品から、お酒や食品、化粧品、たばこ、薬品などの消耗品まで基本的にすべての品目が対象。制度を受けるにはいくつかの条件があるので、ここでチェックしよう。



## CHECK 1

### 消費税10%が免税になります！

一部商品では、軽減税率が適応されて消費税が8%です。軽減税率に関する詳細は以下よりご確認ください。

▼英語のみ  
[https://www.mof.go.jp/english/tax\\_policy/tax\\_system/consumption/index.html#a03](https://www.mof.go.jp/english/tax_policy/tax_system/consumption/index.html#a03)

## CHECK 2

### 商品購入時に免税価格で購入できます。

空港等での事後の免税還付手続きはできません。手続きするには買い物をしたお店で入国スタンプが押されたパスポートの提示が必要。コピーでは手続きできません。クルーズでの旅行者は船舶観光上陸許可証が必要です。

※トラステイドトラベラー・プログラム(TTP)を利用された方は、特定登録者カードと併せて必ずパスポートもご持参ください。

## CHECK 3

### 合計金額5,000円以上で免税適用

商品の種類によって免税適用の内容、条件が異なります。詳細は下図をチェックしてください。

## CHECK 4

### 一時滞在者の外国人の方が対象

日本に入国してから6ヶ月未満の、一時滞在者の外国人の方が対象となります。

※日本人の非居住者が対象になることがあります。

一般物品



宝飾品・工芸品



ゴルフ用品



衣料品



家電



くつ・かばん

**免税購入金額**

同一店舗での1日の合計購入金額5,000円以上(税抜)

**要件**

- ・特殊包装不要
- ・国内使用可
- ・入国日から、6ヶ月未満に日本国外への持ち出しが必須

消耗品



お酒<sup>※</sup>・飲料



化粧品



煙草



健康食品



食品

**免税購入金額**

同一店舗での1日の合計購入金額5,000円以上、500,000円以下(税抜)

**要件**

- ・特殊包装必須
- ・国内使用不可
- ・購入後、30日以内に日本国外への持ち出しが必須

※酒税免税対象の一部の店舗では、消費税に加えて酒税も免税になります。

一般物品

+

消耗品



+



**免税購入金額**

同一店舗での1日の一般物品と消耗品の合計購入金額が5,000円以上、500,000円以下(税抜)

**要件**

- ・特殊包装必須
- ・国内使用不可
- ・購入後、30日以内に日本国外への持ち出しが必須

〈注意〉 一般物品と消耗品の合算免税の可否は店舗によって異なります。合算免税をご希望の場合は、店舗にて確認してください。国内での利用が明確である飲食店での食事などは免税の対象外です。また、事業・販売目的での購入も対象外となります。

# 免税制度を利用してみよう！

免税で買い物をするにはどうすればいいのでしょうか？このページでは、実際に日本の街で免税制度を受けるためのステップを紹介。手続き、必要となるものなどをチェックして、しっかり免税制度を利用しましょう！



## 1 街でこのマークをチェック



免税対応可能な店舗にはこのようなマークがあります。

免税対象店舗は  
4万店以上！対象店舗はここで  
探そう！

※マークがない店舗においても免税対応可能な場合がありますので、店舗で確認してください。

## 2 免税手続きをしよう



＜手続きに必要なもの＞

- 購入した商品
- 本人パスポート(入国スタンプ必要)または船舶観光上陸許可書

※免税カウンターで手続きする場合は、レシート(領収書不可)と、利用したクレジットカードが必要となります。

各店舗の免税カウンターまたはレジに、免税手続きに必要なものを持って行きましょう。

※トラステイドトラベラー・プログラム(TTP)を利用された方は、特定登録者カードだけでは免税制度を利用できません。必ずパスポートもご持参ください。

## 3 購入者誓約書へサイン

誓約書の内容をよく読んでサインしてください

会計もしくは返金

会計時から消費税抜の価格で購入できます。また、免税カウンターを利用した場合は、手続き時に徴収された消費税が、その場で返金されます

※店舗により手数料が発生する場合があります。

商品を受け取る

購入した商品の中に消耗品が含まれる場合は指定の袋などに入れて渡されます。出国するまで入れたままで保管してください。

※合算免税を適用する場合は一般物品も指定の袋などに入れる必要があります。



## 4 空港で手続きしよう

出国するとき、購入した商品とパスポートに貼付された購入記録票を税関に提出しましょう

※液体は機内持ち込みNGなので注意



### 注意 検疫について

肉などの畜産物、水産物、野菜や果物等の農産物等は、海外に持ち出す場合、動物検疫所や植物防疫所で、必ず輸出検査を受けてください。日本での輸出検査を受けていない場合、出国時に没収されます。法令等で、食料品の持込を禁止している国・地域がありますので、自国や次の渡航先の法令を必ず確認してください。

# 免税Q&A

免税制度を受けるにあたっての疑問や起こりがちなトラブルをここで解決！ うっかり見逃すと免税制度を受けられないなんてことになりかねないので、このページで学んでから買い物に行くことをおすすめします。

**Q** 入国時に自動化ゲートを使用し、パスポートに入国印がない場合は、免税対応は可能でしょうか？

**A** 入国印がないと免税は受けられません。自動化ゲートをご使用の際は、必ずゲート近くの入国審査官に押印してもらってください。また、入国スタンプが無い場合でも、TTP利用者であれば手続可能。ただし、カードとパスポートを両方持参すること。

**Q** パスポートをホテルに忘れた為、翌日免税手続きに行こうと思うのですが、手続きしてもらえますか？

**A** いいえ。免税手続きは購入時、その場で行う必要がありますので、パスポートを忘れないようにしましょう。また、一括免税カウンターを利用する場合でも、購入した当日中に免税手続きを行う必要がありますので、ご注意ください。

**Q** 液体物の機内持ち込みは禁止されていますが、化粧水などの免税手続きはどうすればいいですか？

**A** 機内持ち込み基準を超える液体物は預け荷物になりますが、免税申告についてはスーツケースを預ける前に税関職員またはチェックインカウンターのスタッフに申し出てください。

**Q** 酒蔵で酒税免税と、消費税免税の併用は可能ですか？

**A** 可能です。また、一般物品と、消耗品（お酒含む）の合算も可能です。ただし酒税免税も適用した合計額が5,000円に満たない場合は、合算免税の対象にはなりません。

**Q** 商店街やショッピングモールでもまとめて免税できるって本当ですか？

**A** 本来、店舗ごとに会計する必要がある商店街等でも、まとめて免税できる「一括免税」という制度があります。一括免税カウンターの場所、対象店舗かどうかは事前にチェックしましょう。

**Q** 空港などにあるDUTY FREEとのちがいは、なんですか？

**A** 消費税に加え関税、酒税、たばこ税などが免税になるのがDUTY FREEで、基本的に国内滞在中の購入はできません。最近では、市中で特定の条件の下DUTY FREEで買い物ができる空港型免税店も増えてきています。

## これは免税になる？ ならない？ レッスンしてみよう！

一般物品同士の  
組合せ



くつ  
2,500 円



洋服  
3,000 円



5,000 円以上  
免税になります。

国内使用：可能  
特殊包装：なし  
上限金額：なし

消耗品同士の  
組合せ



化粧品  
4,000 円



お菓子  
2,500 円



5,000 円以上、  
500,000 円以下  
免税になります。

国内使用：不可  
特殊包装：あり  
上限金額：50 万円

一般物品と  
消耗品の  
組合せ



Tシャツ  
3,000 円



お菓子  
2,500 円



5,000 円以上、  
500,000 円以下  
※消耗品と同じ要件で免税

国内使用：不可  
特殊包装：あり  
上限金額：50 万円

※一般物品と消耗品の合算でお買い上げ頂く場合の一般物品は消耗品と同じ扱いとなりますので、国内使用をされたい場合や 50 万円を超える場合は、一般物品のみでの免税購入をご利用ください。



スーツケース  
10,000 円  
国内使用予定



化粧品  
4,000 円



14,000 円  
※国内使用予定のため  
合算不可



バッグ  
600,000 円



お菓子  
2,500 円



602,500 円  
※ 50 万円上限のため  
合算不可



## お得に行く! 酒蔵観光

# 酒蔵見学&免税で日本のお酒を楽しもう!

この制度は、許可を受けた酒類製造場の直営店舗での購入が対象となります。日本酒、焼酎、ワイン、ウイスキーなど、日本独自の気候、風土で造られる多彩な国産酒は、世界的にも大人気。製造場の見学とあわせて、ぜひお得に酒類を買って帰ってください。



## 酒蔵やワイナリーなどの直営店で酒税が免税に!

日本酒、焼酎、ワイン、ウイスキーなど、国内で許可された酒類製造所の直営販売所に限り、消費税に加えて酒税が免除されます。免税の諸条件については消費税免税の「消耗品」の欄をあわせてご確認ください。おいしい日本のお酒を、ぜひお得にお楽しみください。

### 対象店舗

酒税の免税許可を受けた店舗での購入のみが対象です。酒店や百貨店、スーパーなどの免税店で購入は、酒税の免税は適応されません。

### 購入金額

購入金額(消費税と酒税を含まない)が5,000円以上500,000円以下となる必要があります。



酒税免税の対象店舗は、Japan. Tax-free Shop Official Websiteで検索、または各店舗にお問い合わせください。



## 日本のお酒を知ろう! 酒蔵を体験

### 製造工程や資料を見学

樽育成庫などの製造工程を見学したり、酒作りに関する資料や道具の展示を見ることができ、日本のお酒の作り方や、その歴史に触れてみよう。



### お酒造りの工程を体験

酒蔵によっては、醗酵している醪(もろみ)を攪拌する作業などの工程の体験ができることも。予約時に確認しよう。



### 酒蔵で作られたお酒を試飲

酒蔵の限定商品や作りたてのお酒の試飲が楽しめるのも嬉しいポイント。味比べや利き酒など、いろいろな楽しみ方を体験。



### 限定品などのお土産を購入

酒蔵ならではの品揃えで、そこでしか買えない限定品や、オリジナルのおつまみやグラスなどグッズも販売。新しい免税制度でお得に買い物。

酒蔵見学のレポートはこちらから▶

<https://tax-freeshop.jnto.go.jp/eng/liquor.php>



# 2019年10月1日より、 日本の消費税が10%になります。

食品や飲料などは軽減税率が適用され、消費税は8%です。

\*お酒および外食は軽減税率の適用対象にはなりません。

\*イートインスペースのある小売店等では、イートイン(10%)、テイクアウト(8%)となり、税率が異なるため、清算時に意思確認を行う場合があります。

\*飲食料品とそれ以外の資産があらかじめ一体となっている資産については、条件により適用税率が異なります。

## 消費税率と商品の例

10% (標準税率)



服



靴



バッグ



化粧品



アクセサリー



スーツケース



タオル・ハンカチ



医薬品類



食器類



お酒

8% (軽減税率)



お米



茶葉



インスタント食品



果物



飲料 (お酒を除く)



お菓子

軽減税率に関する詳細は以下よりご確認ください。

[https://www.mof.go.jp/english/tax\\_policy/tax\\_system/consumption/index.html#a03](https://www.mof.go.jp/english/tax_policy/tax_system/consumption/index.html#a03) (英語)